

## 第5分科会 大学図書館

### 「図書館と展示～企画展示が導く知識との出会い～」

講師：<sup>かわい</sup>河合 <sup>いくこ</sup>郁子氏（東京都足立区 図書館サービスデザイン担当課長）

<sup>まとは</sup>的場 ひろし氏（静岡文化芸術大学デザイン学部デザイン学科教授）

企画展示を手掛けてきたお二人、公共図書館で様々な規模・テーマの企画を行ってきた河合氏、大学図書館で教員の立場から科学の企画を行ってきた的場氏に講演いただいた。



規模の大きな企画展示は広報効果が高く、図書館資料の活用やテーマ紹介にとどまらず、新たな利用者層へのアプローチや、図書館の認知度向上を目指すことができる。テーマ設定は、「その大学（自治体）らしさがあるか」「図書館を会場とする意図は何か」といった目的の妥当性、内容の話題性やニーズ、ターゲット層の見込み、そして作業量が現実的かといった観点から総合的に検討する。特に「らしさ」のあるテーマ選定は、予算獲得やメディア取材を呼び込む上でも重要だ。ターゲットを定めたら、ぶれずにその層に届くよう、広報手段や展示物のデザイン、文体、表記（ふりがなの有無など）の工夫をする。

展示物制作では、掲示用パネルと配布用印刷物で適切な文字サイズや文字数が異なる点に注意する。B1 サイズのパネルは1枚あたり400字程度が読みやすい。A4に縮小印刷しても実際の視認性とは異なるため、複合機のポスター印刷機能を使って原寸大で確認するとよい。情報を持ち帰るためのブックリストの配布や、撮影可否を明示してSNSでの拡散を促すこともさらなる周知に効果がある。

展示物制作では、掲示用パネルと配布用印刷物で適切な文字サイズや文字数が異なる点に注意する。B1 サイズのパネルは1枚あたり400字程度が読みやすい。A4に縮小印刷しても実際の視認性とは異なるため、複合機のポスター印刷機能を使って原寸大で確認するとよい。情報を持ち帰るためのブックリストの配布や、撮影可否を明示してSNSでの拡散を促すこともさらなる周知に効果がある。

的場氏は、学生のサイエンスやテクノロジーへの関心を高めるため、大学図書館やギャラリーでデザインの力を活かした展示を実施してきた。背景には、科学系科目に限られる大学でも科学に触れる機会を提供したい、図書館を利用しない学生にも本の魅力に気付いてほしいという願いがある。

具体的には「照明」「電話」「時と場所」など、生活に身近な科学のテーマを選び、専門家の監修を受けて、複雑な内容を分かりやすく説明する図表をデザインし、幅約5mのターポリンに印刷して掲示している。同時に、監修者による講演会やワークショップ、インタラクティブな実物展示も実施し、学生が実際の体験を通して理解を深められる内容になっている。また関連図書を陳列して、展示で生まれた興味が本につながる構成としている。陳列時は表紙コピーを本の下に貼り戻すべき場所を明確にしておく、安心して本を手にとれるようだ。真面目な学生ほど課題やアルバイトで忙しく、他の事に目が向かないこともある。図書館入口などふと目に留まりやすい場所に展示を配置しやすいスペースを作った



り、授業と連携して展示を見学する機会を作る等、関心を引くための工夫を行っている。

展示はあくまで手段で、最終目的は大学（自治体）や図書館の活性化だ。企画展示は関連イベントとの連携など多角的なアプローチが可能で、普段は図書館に足を運ばない人にも新たな接点を生み出し、図書館の利用を活性化させる力がある。

# 企画展示 準備のポイント

足立区地域のちから推進部  
図書館サービスデザイン担当課  
河合 郁子

1

# 自己紹介

河合 郁子 (かわい いくこ)

2007年 ～ 2017年	<p><b>千代田区立千代田図書館 企画・システム部門 企画チーム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ミュージアム・出版社など、外部機関との連携を通じた、展示やイベントの企画・実施</li> <li>・ 外部の専門家との連携による、特別コレクションの活用促進</li> <li>・ ビジネスパートナー向けアウトリーチサービス (ビジネス書の出張展示)</li> </ul>
2018年 ～ 2023年	<p><b>石川県 新図書館整備推進室 企画グループ</b> <b>石川県立図書館 利用推進課 企画事業グループリーダー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石川コレクションの構築 (収集・整理・活用)</li> <li>・ 移転業務 (配架計画・雑誌書庫整理・資料管理見直し)</li> <li>・ ミュージアム・出版社など、外部機関との連携を通じた、展示やイベントの企画・実施</li> </ul>
2024年 ～	<p><b>足立区 地域のちから推進部 図書館サービスデザイン担当課長</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区立図書館全体の業務見直し</li> <li>・ 梅田八丁目複合施設の整備</li> </ul>

2

## 目次

- 1 展示の規模
- 2 企画展示の目的
- 3 展示準備のポイント
- 4 さいごに

3

## 1. 展示の規模—小規模な展示①



第228回企画展示「北陸4県の山々を巡る ～北陸4県・県立図書館所蔵資料交流展示会～」  
会期：2016年3月15日(火)～3月30日(水) 会場：石川県立図書館 3階 閲覧室

4

## 1. 展示の規模—小規模な展示②



としよかんのこしよかんVol.117「今も昔も素敵なるた」  
 会期：2024年12月23日(月)～2025年1月25日(土)  
 会場：千代田図書館9階 地域連携コーナー  
 協力：奥野かるた

5

## 1. 展示の規模—中規模な展示①



科学雑誌と家電でたどる日本の150年  
 会期：2015年5月25日(月)～8月22日(土) 会場：千代田図書館9階 企画展示コーナー

協力：科学技術館、  
 東京理科大学近代科学資料館  
 gakken

6

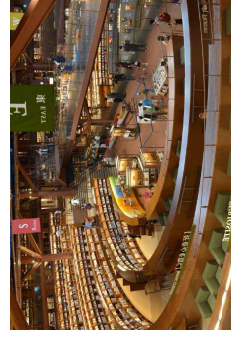
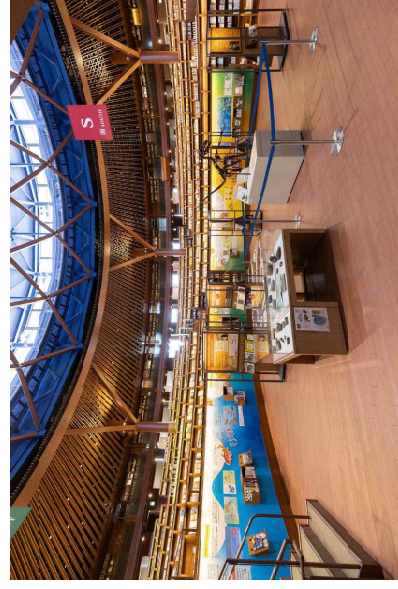
## 1. 展示の規模—中規模な展示②



「散歩の達人」とともに振り返る千代田のまちの20年  
 会期：2016年3月28日(月)～6月25日(土) 会場：千代田図書館9階 企画展示コーナー  
 協力：交通新聞社

7

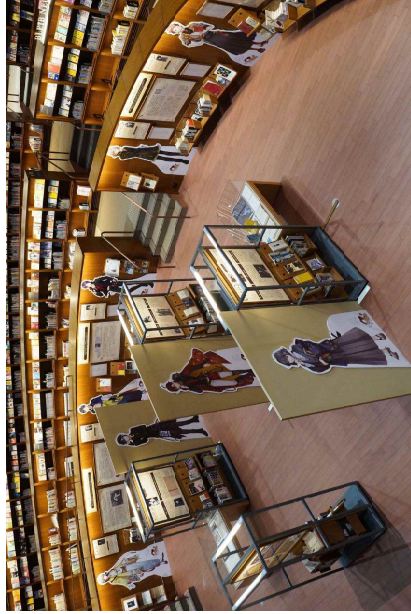
## 1. 展示の規模—大規模な展示①



「絵本でたどる、ながいながい進化のはなし」  
 会期：2022年7月16日(土)～11月24日(日)  
 会場：石川県立図書館 企画展示コーナー  
 協力：国立科学博物館

8

## 1. 展示の規模一大規模な展示②



「十二文豪図書館二降臨ス～EPISODES with 文豪とアルケミスト～」

会期：2022年12月6日（火）～2023年3月5日（日）

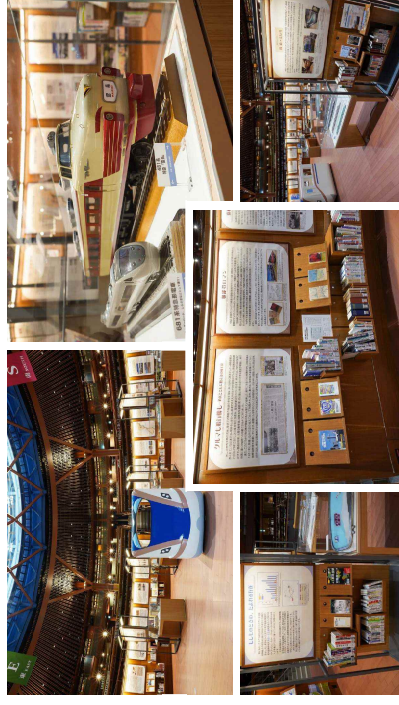
会場：石川県立図書館 企画展示コーナー

協力：DMM

9



## 1. 展示の規模一大規模な展示③



「鉄道タイムトラベル～2024年春、いよいよ北陸新幹線県内全線開業！～」

会期：2023年6月20日（火）～9月10日（日）

会場：石川県立図書館 企画展示コーナー

協力：西日本旅客鉄道(株)、京都鉄道博物館、(公財)日本交通公社 旅の図書館

10

## 2. 企画展示の目的

### (1) 図書館資料の活用

- ▶ 貸出数・閲覧数の増加
- ▶ 貴重資料の存在をアピール

### (2) 個々のテーマについて紹介

- ▶ 図書館のサービスや歴史
- ▶ 自治体の施策など

### (3) 顧客満足度の向上

- ▶ いつもの利用者に喜んでもらう

### (4) 新規顧客の開拓

- ▶ 普段、図書館を利用しない人に  
展示を見に来館してもらう

### (5) 図書館の認知度向上

- ▶ ポスターやチラシを見ることが  
「うちの町にも図書館があるんだ」  
「本の貸出だけじゃないんだ」

11

## 3. 展示準備のポイント

- (1) 展示のテーマを決める
- (2) 展示のメインターゲットを決める
- (3) 告知
- (4) 展示開始までのスケジュール
- (5) 見やすいパネルづくり
- (6) 展示の情報を持ち帰ってもらうための工夫
- (7) 展示期間中に、関連イベントを開催

12

### 3. 展示準備のポイント(1)テーマを決める

この図書館で開催する必然性・妥当性をおさえる

①自治体らしさ
②自治体の成長戦略との関連性
③図書館らしさ
④当館の資料活用度(一般資料)
⑤当館の資料活用度(貴重資料・地域資料)
⑥その他の必然性(時事、当館の施設活用など)

⇒館内で、企画が通りやすい(予算が付きやすい)

### 3. 展示準備のポイント(2)メインターゲット

- ①「みんなに見てほしい」では、「誰も見てくれない」子どもから老人まで見る展示は存在しない
- ②具体的なターゲットをイメージする
  - 年代、性別
  - そのテーマについての知識量(認知レベル)
- ③パネルやチラシのデザイン
- ④文体、単語、ふりがな
- ⑤広報の媒体

### 3. 展示準備のポイント(3)告知

告知を行うために必要なこと

- ①ある程度の展示の規模  
「わざわざ見に来たのに、これだけ？」は、マズイ
- ②開催期間の定め  
「いつでも行ける」は、「結局行かない」

図書館で展示していることを、ターゲットが知らなければ、何も行われていないのと同じ

⇒どうやってターゲットのところへ告知情報を届けるか

- SNS
- Webサイト
- チラシ・ポスター
- 新聞掲載(プレスリリース、イベント情報欄)
- 自治体の広報紙



### 3. 展示準備のポイント(4)スケジュール

- ① 展示内容の打ち合わせ…1年前～3.5か月前
- ② 具体的展示内容の検討…3.5か月前～
- ③ 展示内容・イベントの詳細決定…3か月前
- ④ パネル作成開始…3か月前
- ⑤ 告知物作成開始…2.5か月前
- ⑥ 展示図書のセレクト開始(寄贈・借用本の手配)…2か月前
- ⑦ パネル初校の校正…1.5か月前
- ⑧ 寄贈・借用本の納品…1か月前～2週間前
- ⑨ チラシ配布・HPでの告知開始…1か月前
- ⑩ パネル校了…1週間前
- ⑪ 展示設置…前日

### 3. 展示準備のポイントー(5)パネルづくり

- ①最後まで読んでもらえるか・・・読みやすいパネル
- ②偶然前を通った利用者の足を止められるか
  - ・・・魅力的なデザイン ※実物展示も効果的
- ・文字数・・・約400字(B1程度のパネルの場合)
- ・図版・・・1パネルに1-3枚
- ・文字サイズ、行間、文字色・・・メリハリが大切

ハンドアウトサイズと大型パネルでは、見え方がぜんぜん違う。慣れるまでは、なるべく原寸でサンプルを作成する。

### 3. 展示準備のポイントー(5)パネルづくり

A4サイズで出力した時の見え方①



- ・本文：約200字×2冊
- ・書影はほぼ原寸(98%くらい)

参考 A4=210×297

### 3. 展示準備のポイントー(5)パネルづくり

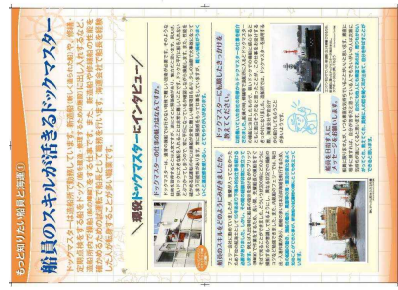
A4サイズで出力した時の見え方②



- ・本文：約210字
- ・囲み3か所計：約220字

### 3. 展示準備のポイントー(5)パネルづくり

A4サイズで出力した時の見え方③



- ・本文(橙色)：約160字
  - ・囲み4か所計：約940字
- せめて色付き文字(橙色と水色)だけ読めば、  
主旨が伝わるように工夫  
⇒本文+水色文字：約480字



### 3. 展示準備のポイント(6) 情報を持ち帰る

#### ⑤ 展示パネルをパンフレットに



展示のパンフレットを  
転用して作成した  
パンフレット↑



特別コレクション紹介展示  
「古書目録のココが好き! ~8人の選人が選ぶ、とっておきの一冊~」  
@千代田図書館

### 3. 展示準備のポイント(7) 関連イベント

#### ① 展示テーマに関連した内容で講演会 やイベントを開催

- ▶ 本を読まない人(普段、図書館を利用しない人)にも情報を届ける
- ▶ そもそも、本の形になったものだけが「情報」ではない



### 3. 展示準備のポイント(7) 関連イベント

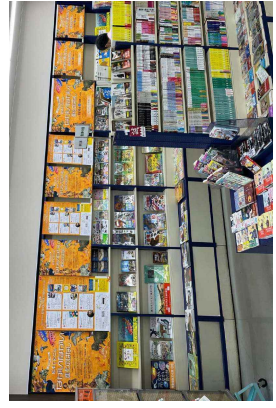
#### ② 地元の新刊書店にて連動フェアを実施



【左】東京堂書店神田神保町店



【中】三省堂書店神保町本店



【右】うつつのみや書店小立野店

## 4. さいごに

(1) 石川県立図書館に、大規模な企画展示コーナーがある理由

- ① 資料の活用 (読書推進)
- ② 新規利用者の開拓
- ③ 職員の人材育成
- ④ 賑わい創出 (新しい図書館イメージの醸成)
- ⑤ 予算獲得



29

## 4. さいごに

(2) 中・大規模展示を検討するときの15の評価軸

項目	評価軸 (各2点)	項目	評価軸 (各2点)
目的	① 当自治体らしさ	展示内容	⑦ 実現可能性の高さ
	② 自治体の成長戦略との関連性		⑧ ターゲット (新規利用者層の開拓)
	③ 図書館らしさ		⑨ テーマ・ストーリーの面白さ・話題性
	④ 当館の資料活用度 (一般)		⑩ ストーリーは、現実的な内容量であるか
	⑤ 当館の資料活用度 (貴重資料・地域資料)		⑪ 原稿や図版素材 (アテはついているか)
	⑥ その他の必然性 (時事、当館の施設活用など)		⑫ 監修者 (目途はついているか)
作業量		作業量	⑬ 連携先の当館への協力度合
			⑭ アリモノの素材の割合
			⑮ 関係者の調整

(2点×15項目 = 30点満点)

30

ご清聴ありがとうございました。

31

報告の流れ

(1) 静岡文化芸術大学について

- ・浜松駅から徒歩 15 分
- ・設置は 2000 年 学生数は約 1500 名
- ・浜松科学館、浜松市楽器博物館、浜松市美術館等の文化施設に歩いて行ける
- ・浜松市内には、静岡大学（工学部、情報学部）、浜松医科大学、光産業創成大学院大学等がある

(2) 静岡文化芸術大学 図書館・情報センターについて

- ・蔵書数：269,515 冊（2025.3.31 現在）
- ・貸出数：34,210 冊（2024 年度）

(3) 「サイエンスとデザイン」について

- ・デザインの工夫によってサイエンスやテクノロジーへの興味を促進する試み
- ・2018 年度より、毎回異なるサイエンスのテーマを選び、これまでに 6 回実施
- ・毎回、テーマに合わせて大型の横長図表（ターポリン）をデザインし展示する
- ・関連図書を陳列し、図表で興味を感じた内容に関して書籍からより深い知識を得られる
- ・外部の研究者・専門家の皆さんにご協力いただいている（監修、講演等）

(4) 6 回のテーマについて

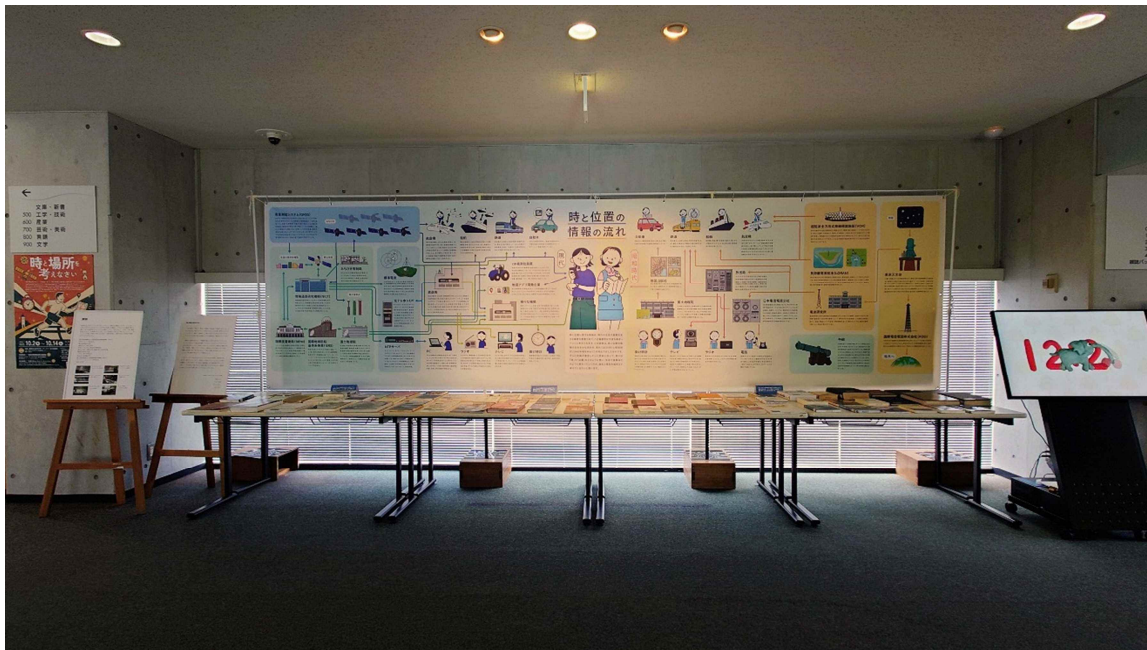
- ・第一回 2018 年度 「われわれをとりまく電磁波」
- ・第二回 2019 年度 「私たちの視覚」
- ・第三回 2020 年度 「様々な明かり」
- ・第四回 2023 年度 「太陽系の色」
- ・第五回 2024 年度 「みんなの電話」
- ・第六回 2025 年度 「時と場所を考えなさい」

(5) 工夫した点について

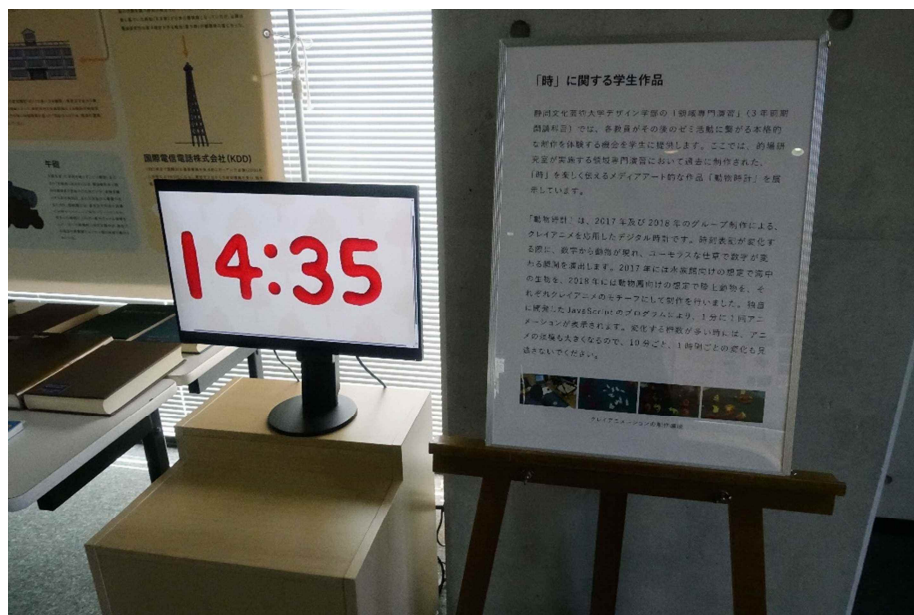
- ・図書館内の展示スペースの整備
- ・書籍の陳列における書籍表紙コピーの活用
- ・ミニレクチャーとワークショップの実施
- ・ギャラリー空間の活用
- ・インタラクティブな展示物や学生作品等の展示

(6) まとめ

- ・展示を見た学生の感想は概ね良い
- ・特に学生はインタラクティブな展示物に興味を示す傾向がある
- ・授業と連携して、この展示に訪れる必要のある課題等を作ることは有効
- ・このような展示を実施することは作業が大変だが楽しい（得るものが大きい）



現在、図書館にて「時と場所を考えなさい」の展示を行っています。2025年12月は別の展示（世界のえほん展）に替わりますが、2026年1月～3月は展示を再開する予定です。当館の利用者カードをお持ちでない方は、入館ゲートのインターホンでお知らせください。当館の開館日時は、当館 Web サイト（上記 QR コードか、<https://www.suac.ac.jp/library/> よりアクセス）でご確認いただけます。



横長の図表の展示や書籍の陳列に加えて、新しいスタイルで「時」を伝える学生作品「動物時計」の動態展示も行っていますので、あわせてご覧下さい。的場研究室にて2017年及び2018年にグループ制作で作られた、クレイアニメを応用した作品です。時刻表記が変化する際に、数字が動物に変化し、ユーモラスな仕草で時刻が変わる瞬間を演出します。

## 第6分科会 全国公共図書館研究集会

### 事例報告

#### 「静岡書店大賞：静岡県の読書推進に向けて」

講師：<sup>かわぐち</sup>河 口 <sup>まさや</sup>雅哉氏（第12回静岡書店大賞事務局長）

全国でも珍しい官民一体の地方文学賞である静岡書店大賞について、その成り立ちや目的などについて、長年運営に携わり、第4回・12回では実行委員長を務められた谷島屋ららぼーと磐田店店長の河口雅哉様にご報告いただいた。

静岡書店大賞は2012年に創設された。新聞記事「静岡県の書籍購入率は全国下位」を端



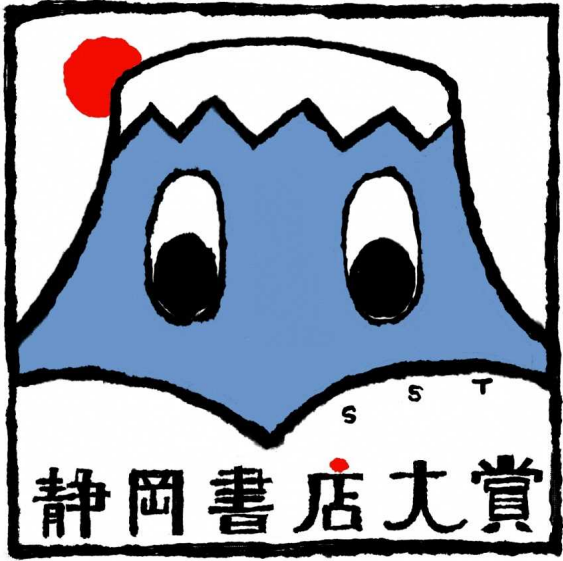
に、現高久書店の高木久直氏と県内の雄志書店員数名により、書店同士のしがらみを越えて組織された。ノウハウもコネもお金もない手探り状態であったため、スタッフの努力の他、出版社や地元の企業など多方面からの協力を得て運営している。図書館も第2回から活動に加わり、全国初となる民間と行政の垣根を越えた取り組みとして報道されるようになった。立場は違えど、思いは同じ読書推進活動ということで、皆心を一つにして運営している。ただ順風満帆の運営ではなく、特に2020年はコロナ禍で開催を断念した。ここで賞を終了するという考えもあったが、「静岡でここまでやってきたこの灯を消してはいけない」というスタッフの熱い思いもあり、翌年は動画配信により再開した。県民読者に一冊でも良い本を紹介したいという思いは当初から変わっていない。

投票は静岡県内の書店員、図書館員、学校司書であれば誰でも投票できる。発表日は「しぞ〜か本の日」と銘打ち、授賞式と取次との商談会を合同で実施している。授賞式も今は結婚式場等を貸し切り、延べ500人ぐらいで開催している。作家にお越しいただくほか、書店のカバー展や、さくらももこさんの追悼、一般参加者の公募などの変化もつけている。一般参加された方と書店で偶然再会することもあり、静岡書店大賞が読書推進に繋がっていると実感している。

投票のうち書店員票は減少しているが、図書館・学校司書は本屋大賞よりも多い投票数となっており、図書館員の関わりの大きさが伺える。売上げも、平時の静岡は全国の2~3%だが、受賞作発表後の3ヶ月は概ね8%まで上昇、地元作家等だと95%にまで達するものもあり、メディアの力、そして書店・図書館の企画力が数字にも表れている。受賞作家からも様々なメッセージをいただいております。賞としても成長していると感じる。静岡の書店員・図書館員が選んだ本という信頼感・安心感を与えることで、さらなる読書推進に繋がればと思っています。

12月2日に新しい賞が発表になる。あと何年できるか分からないが、可能な限り続けていきたい。

# 静岡書店大賞



### 第1回 (2012年)

【小説部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	ポプラ社	きみはいい子	中脇初枝
2	KADOKAWA	光圀伝	冲方丁
3	文藝春秋	三匹のおっさん ふたたび	有川浩
静岡作家賞	講談社	本ボシ (文庫)	曾根圭介
特別賞	ポプラ社	おもかげ復元師	笹原留似子
特別賞	ポプラ社	おもかげ復元師の震災絵日記	笹原留似子

【児童書 新作部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	偕成社	きょうのごはん	加藤休ミ
2	金の星社	ふじさんファミリー	みやにしたつや
3	ブロンズ新社	うどんのうーやん	岡田よしたか

【児童書 名作部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	講談社	100万回生きたねこ	佐野洋子
2	福音館	ぐりとぐら	中川李枝子
3	偕成社	はらべこあおむし	E・カール

### 第2回 (2013年)

【小説部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	河出書房新社	想像ラジオ	いとうせいこう

【文庫部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	光文社	和菓子のアソビ	坂木司

【児童書 新作部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	絵本館	パンダ銭湯	tupera tupera
2	ブロンズ新社	しろくまのパンツ	tupera tupera
3	ブロンズ新社	りんごかもしれない	ヨシタケシンスケ

【児童書 名作部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	偕成社	からすのパンやさん	かこさとし

### 第3回 (2014年)

【小説部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	新潮社	本屋さんのダイアナ	いとうせいこう

【文庫部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	PHP研究所	書店ガール	碧野圭

【児童書 新作部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	偕成社	うみの100かいだて	いわいとしお
2	金の星社	かぜのでんわ	いもとようこ
3	金の星社	おかあさんだいすきだよ	みやにしたつや

【児童書 名作部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	福音館	ぐりとぐら	中川李枝子

### 第4回 (2015年)

【小説部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	文藝春秋	朝が来る	辻村深月

【文庫部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	KADOKAWA	ちょっと今から仕事やめてくる	北川恵海

【児童書 新作部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	講談社	ママがおぼけになっちゃった	のぶみ
2	福音館	きょうのおやつは	わたなべちなつ
3	PHP研究所	りゅうがあります	ヨシタケシンスケ

【児童書 名作部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	偕成社	はらべこあおむし	エリックカール

### 第5回 (2016年)

【小説部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	幻冬舎	ツバキ文具店	小川糸

【文庫部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	ポプラ社	活版印刷三日月堂	ほしおさなえ

【児童書 新作部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	ブロンズ新社	もうぬげない	ヨシタケシンスケ
2	ブロンズ新社	このあとどうしちゃう	ヨシタケシンスケ
3	WAVE出版	ネコツメのよる	町田尚子

【児童書 名作部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	ブロンズ新社	だるまさんシリーズ	かがくいひろし

### 第6回 (2017年)

【小説部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	KADOKAWA	AX	伊坂幸太郎

【文庫部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	文芸社	余命10年	小坂流加

【児童書 新作部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	金の星社	うわのそらいおん	福永純平
2	偕成社	そらの100かいだてのいえ	岩井俊雄
3	PHP研究所	なつみはなんにでもなれる	ヨシタケシンスケ

【児童書 名作部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	こぐま社	しろくまちゃんのほっとけーき	若山憲

### 第7回 (2018年)

【小説部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	新潮社	火のないところに煙は	芦沢央

【文庫部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	講談社	毎年、記憶を失う彼女の救い方	望月拓海

【児童書 新作部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	PHP研究所	おしっこちょびりもれたろう	ヨシタケシンスケ
2	アリス館	ねるじかん	鈴木のりたけ
3	白泉社	ノラネコぐんだんアイスのくに	工藤ノリコ

【児童書 名作部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	ポプラ社	ねずみくんのチョッキ	なかえよし香/作 上野紀子/絵

### 第8回 (2019年)

【小説部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	新潮社	月まで三キロ	伊与原新

【文庫部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	ポプラ社	この冬、いなくなる君へ	いぬじゅん

【児童書 新作部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	ブロンズ新社	ころべばいいのに	ヨシタケシンスケ
2	小峰書店	なまえのないねこ	竹下文子 町田尚子
3	学研プラス	しょうがっこうがだいすき	うい 江頭路子

【児童書 名作部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	こぐま社	わたしのワンピース	西巻茅子

第9回 (2021年)

【小説部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	講談社	スモールワールズ	一穂ミチ

【文庫部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	新潮社	月まで三キロ	伊与原新

【児童書 新作部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	KADOKAWA	パンどろぼうvsにせパンどろぼう	柴田ケイコ
2	ポプラ社	あんなに あんなに	ヨシタケシンスケ
3	偕成社	もりの100かいだてのいえ	いわいとしお

【児童書 名作部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	こくま社	11びきのねこ	馬場のぼる

第10回 (2022年)

【小説部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	講談社	忍者に結婚は難しい	横関 大

【文庫部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	集英社	この恋が、かなうなら	いぬじゅん

【児童書 新作部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	小学館	大ピンチずかん	鈴木のりたけ
2	文響社	おばけのかわをむいたら	たなかひかる
3	偕成社	さかなくん	しおたにまみこ

【児童書 名作部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	福音館	てぶくろ	エウゲーニー・M・ラチョフ

第11回 (2023年)

【小説部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	新潮社	成瀬は天下を取りにくい	宮島未奈

【文庫部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	KADOKAWA	レプリカだって、恋をする。	榛名井

【児童書 新作部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	白泉社	おすしがふくをかいにきた	田中達也
2	KADOKAWA	メメントモリ	ヨシタケシンスケ
3	ポプラ社	パンダのおさじとフライパンダ	柴田ケイコ

【児童書 名作部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	童心社	14ひきのあざごほん	いわむらかずお

第12回 (2024年)

【小説部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	河出書房新社	ぬくもりの旋律	岡田真理

【文庫部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	マイクロマガジン社	おまわりさんと招き猫 秘密の写真とあかね空	植原翠

【児童書 新作部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	金の星社	火の鳥 いのちの物語	手塚治虫 原作 鈴木まもる 文・絵
2	小学館	大ピンチずかん 2	鈴木のりたけ
3	バイ インターナ ショナル	トドにおとどけ	大塚健太 作 かのうかりん 絵

【児童書 名作部門】			
順位	出版社	書名	著者
1	福音館書店	はじめてのおつかい	筒井頼子 さく 林 明子 え

静岡書店大賞投票者数				
		総合計	書店員	図書館員
2012	第1回	609	609	
2013	第2回	706	630	76
2014	第3回	701	637	64
2015	第4回	683	627	56
2016	第5回	649	617	32
2017	第6回	802	594	208
2018	第7回	764	624	140
2019	第8回	721	565	156
2020		コロナ過にて中止		
2021	第9回	636	482	154
2022	第10回	615	468	147
2023	第11回	605	434	171
2024	第12回	590	442	148
2025	第13回	599	421	178

【副賞ご提供企業様】

- 株式会社飲料 様
- 株式会社どん 様
- 株式会社宮原商店（横断バッグのミヤハラ） 様
- 株式会社アドライン（富士山グッズ） 様
- 株式会社田子の月 様



## 調査報告

### 「人口減少社会における図書館と地域の関係性とこれからのあり方」

講師：大谷 <sup>おおたに</sup> <sup>やすはる</sup> 康晴氏

(青山学院大学 コミュニティ人間科学部 コミュニティ人間科学科教授)

図書館は地域社会への影響だけでなく、人口減少や要介護リスク減少などにも存在が見え隠れしている。そういった状況とこれからの図書館のあり方について、静岡出身で青山学院大学の教授である大谷康晴様からご報告いただいた。



人口減少と図書館の関係について、2040年の自治体の推計人口をもとに図書館設置・未設置自治体の違いをまとめたところ、設置自治体のほうが人口減少が緩やかになる傾向が見受けられた。あくまでも相関であるが、図書館も含めた教育文化を提

供・維持できない自治体に住民は集まらなくなりつつある傾向が見え隠れする。

また、まちづくりと教育の関係について「地域活性化に関する行政評価監視」によると、人口の社会減の要因として約3分の1の自治体が住民サービスを挙げているが、その具体要因では約9割が「教育文化の不足」、教育文化の提供を失敗して住民を逃したと回答している。教育文化を放置して人口増を意図することは、穴が空いた浴槽にバケツで水を満たそうとする行為である。しかし、抑制事業は数字に出ないため予算が付きにくく、バランスをとった政策の難しさというものも感じている。

ほか、統計学の査読雑誌に「図書館の本が多い街ほど健康長寿の傾向」、蔵書密度が1増えると要介護リスクが4%減少するという相関関係を示す論文が掲載された。これだけで図書館が要介護リスクを軽減するというのは強弁しすぎだが、これらの要素を図書館のOutcome評価に絡め、教育文化が人口減に関わっているという認識を自治体の政策担当や予算担当に伝えていくことも大切である。

図書館のあり方について、人口減少を踏まえると、教育文化が社会減に特に効果を持つのは高齢者人口が増加し総人口が減少に転じるフェーズである。図書館は高齢者を支援対象として捉えがちだが、このフェーズは生産者として活動する高齢者も多い。これらを支えることが、住民の健康寿命を延ばしQOLを高めることにつながる。また図書館が地域との関わりを作り、住民が地域に関わることに對する自負心、シビック・プライドを醸成することが、共同体機能の衰退及び無気力感の蔓延を防ぐことにもなる。

最後に、書店との協力については、上下の関係ではなく、お互いのやるべきことを整理し、ベクトルの合力のように方向性を揃えることで効果が上がる。出版文化、ひいては教育文化や地域の持続可能性を維持するため、本日のような場を通じて相互理解を深めていきたい。

## 研究協議

### 「人口減少社会における図書館と地域の関係性とこれからのあり方」

司会・コーディネーター：大場 博幸氏

登壇者：河口 雅哉氏・大谷 康晴氏・

たかはし けんじ  
高橋 健二氏（静岡県立中央図書館館長）



午前の講演会講師、大場博幸氏に司会・コーディネーターをお願いし、事例報告、調査報告でそれぞれ登壇した、河口雅哉氏、大谷康晴氏に加え、静岡県立中央図書館館長の高橋健二氏の4名で研究協議を行った。テーマは「図書館と書店の共存・共栄」である。

前半では、大場氏が各登壇者に対し、テーマに関する質問を行った。

静岡県立中央図書館と書店の関わりについて、高橋氏から、資料は競争入札や見積合わせにより県内の書店で購入していることを話した。この話を受け、県内の書店に勤める河口氏は、装備あり納品での利益はほぼないと応えた。

河口氏から、静岡書店大賞に図書館員が関わることでの投票への影響について、キャラクターものへの投票がほぼゼロになり、影響は如実に出ていることが明かされた。

続いて、人口激減以前の段階の自治体で書店はどう位置付けられるのかについて、大谷氏は離島の話を出し、書店がなくなることは地域の文化が失われることだと話し、離島で本を届けたいと思っている書店への協力の必要性を述べた。

後半の協議はお互いの発言へのコメントになった。

大谷氏は、図書館の資料装備を書店でなく、図書館職員がやる場合に、持続可能なのかと問い、高橋氏は、図書館では特定の業務のスキルが1人に集中しないようにシェアしていることを紹介した。

高橋氏は、自身が限界集落的な地域に住んでおり、その地域で必ず与えられる自分の役割が、所属意識を生んでいると感じると話し、図書館でも地域住民が何らかの所属意識とか、何かやることがあるのが大切で、自分がそこに存在する意義を感じられるような図書館にできるとすごくいいと述べた。大谷氏は高橋氏の事例を、自分がコミットすることで地域に愛着を持つというシビックプライ

ドだとし、人間は自分が何も関わっていない他人事で状況が進展していると、どこまでも無責任になるが、地域の図書館のイベントや、図書館自体の清掃活動とか、地域に関わる有力なものとしてそこに図書館があれば、地域文化としてそこに人が集い、交流があり、いろんな人が関わることで、地域は持続の可能性を高めるのだという思いを伝えた。

河口氏は、図書館のSNSでの発信が館によって差があるように思うと話し、高橋氏は、県立図書館では、今はWEBサイトとXをやっている、県の機関としての難しさがあるものの、内容に工夫をしたり絵文字をつけたりと、親しみやすくなるように努力をしていると紹介した。また大谷氏は、学生がやっている図書館のSNSについての卒論を見ていて、イベントをやりません、やりました、だけの内容のみで成功している図書館はないと話した。

参加者からも登壇者へ質問があり、日本の公営書店に対する意見を求められた。

大場氏は、公営の書店として、青森県八戸市の「八戸ブックセンター」、福井県敦賀市の「ちえなみき」があるとし、先月くらいに新聞報道のあった、八戸ブックセンターの財務状況から、公営書店は自治体がかかり赤字を覚悟して運営をしているとした。ただ、八戸市は書店だけでなく、演劇や音楽などの文化支援を市全体でやろうという機運の中、その一環として八戸ブックセンターがあるのだと加えた。

大谷氏は、JPIC（財団法人出版文化産業振興財団）の活動の一環として平成5年に作られ、唯一現在も残っている、北海道礼文島の公設公営の書店と図書室が隣接している「BOOK愛ランドれぶん」は、商業的でなく、地域の文化を残すという方向性で運営されていると話した。

高橋氏は、夏に訪れた八戸ブックセンターについて、市の政策として、繁華街で文化的な雰囲気醸成しようとしているのではないかと、元八戸市民の立場から見た印象を述べた。

河口氏は、無書店地域は年々増えているので、そういった所に公営書店ができるのは非常に賛成だとし、図書館で見るのも書店で見るのも、いずれにしろ読書推進に繋がれば良いとの思いを話した。

他の参加者からは、静岡書店大賞に県立図書館職員が関わっているのは、有志か業務か、毎年同じ職員が関わるのか、替わるのか質問があり、経過を経て現在は業務となり、担当がいること、担当は替わるとの回答があった。

最後に、登壇者がそれぞれの立場からコメントし、大場氏は、「できるだけお互い助け合って、読書振興に努めていきましょう」と締めくくった。



## 1 図書館を巡る話題とトピックス

- 「図書館・学校図書館の運営の充実に関する有識者会議」は報告書を作成中である。公立図書館は地域のハブ、学校図書館は学校の中心を担う、とする方針。
- 書店活性化プラン  
2000年代初めと比べ、半数近くまで減少し、全国の28%、493自治体には書店がない状態である。国の施策として『書店活性化プラン』が2025年6月に公表された。図書館は書店、地域の団体等との連携を期待されている。
- （一社）日本書籍出版協会など出版4団体は再販売価格維持契約書のひな型を改定し、官公庁へも定価販売すると改めた。図書館へ影響が及ぶと考えられる。
- 図書館等公衆送信サービス  
国立国会図書館、東京都立図書館で開始した。現在、大学等も含め計26館でサービスが提供されている。
- 電子図書館サービス  
（一社）電子出版制作・流通協議会の調査では都道府県63.8%、全体33%で導入。
- その他  
いわゆる読書バリアフリー法は2025年4月から第二期（5か年計画）を開始した。施策の方向性は第一期と大きな変化はない。

## 2 公立図書館の状況（『日本の図書館』2025）

- 2024年4月現在、前年より市立1館、町立5館、その他含め計9館増え、合計3,301館となった。市の図書館未設置は6市のみである。設置率は市区立99.3%、町立66.2%、村立33%程度。
- 図書館運営費は人件費等の経費上昇により増加、資料購入費の占める割合は年々減少している。  
資料費は2009年調査から15年、ほぼ大きな変化はない。図書館運営費全体の増加幅が大により資料費の増加が抑制されていることが裏付けられている。資料単価の上昇もあり、購入できる資料数は減少し、蔵書新鮮度の低下がみられる。この状況は危惧すべき傾向である。
- 公立図書館職員の雇用形態、種類別職員数の推移は、正規職員数が減少し続けている。全体に占める比率は、15年間で40%から25%まで落ち込み、会計年度任用職員と委託派遣等がどちらも35%ずつを占めている。公立学校図書館職員は圧倒的に非正規職員で、日本図書館協会として大きな課題と認識している。
- 施設整備  
近年の建設費の高止まりを受け、建設計画が中止や取りやめとなった例が出ている。また、新館ではなく、数年休館しても既存施設の長寿命化を図る例もある。

## 3 （公社）日本図書館協会のこの一年

- 協会WEBページのリニューアル
- 学校司書の配置等に関する提言
- 第15期認定司書、第41回建築賞  
地域ごとにそれぞれの事情に合わせて、図書館と自治体、公民館、学校図書館、書店など、多くの人や組織を巻き込む形で読書人口を増やす活動が今こそ求められている。

## 5 その他

(1) 総参加者数

総参加者数は 749 人であった。

(2) 後日配信

令和 7 年 12 月 25 日から令和 8 年 2 月 10 日まで YouTube にて動画配信を行った。  
開会式・表彰式、講演会、第 1 分科会、第 2 分科会、第 3 分科会、第 4 分科会、  
第 5 分科会、第 6 分科会（事例報告、調査報告、研究協議、情勢報告）  
累計閲覧回数 1,907 回であった。

(3) 配布資料の公開

動画配信に合わせ、令和 8 年 2 月 10 日まで公開した。

## 令和7年度 静岡県図書館大会運営委員会

委員長	山梨	和美	(静岡市立中央図書館)
副委員長	枝村	賢美	(浜松市立中央図書館)
第1分科会	飯田	幸	(静岡市立中央図書館)
第1分科会	鈴木	敏正	(焼津市立大井川図書館)
第2分科会	木村	陽菜	(熱海市立図書館)
第2分科会	望月	美恵	(沼津市立図書館)
第2分科会	内田	圭亮	(菊川市立小笠図書館)
第3分科会	鈴木	紀予	(浜松市立中央図書館)
第3分科会	佐藤	葵	(函南町立図書館)
第3分科会	勝山	高	(静岡県読み聞かせネットワーク)
第4分科会	林	容子	(静岡県読書推進運動協議会)
第4分科会	佐藤	絵巳	(静岡市立南部小学校)
第4分科会	山田	直美	(静岡県総合教育センター図書室)
第5分科会	谷	真愛子	(静岡大学附属図書館(浜松分館))
第5分科会	井出	直樹	(静岡文化芸術大学)
技術支援	入月	卓也	(静岡県立中央図書館)

令和7年度 第32回 静岡県図書館大会記録集

発行日 令和8年3月5日

編集・発行 静岡県図書館協会

〒422-8002

静岡市駿河区谷田53-1

静岡県立中央図書館内